

# Gr.A ENGINE 再生計画 5VALVE 4A-G編

by RACING PROJECT  
BANDOH & CARBOY

▲エンジン抜きにしてもなかなかカッコいいハチロク。ボンネットはマニアが泣いて欲しがる? TRD製。spoilerは江花工業製。

やっぱり見せなきや話にならないでしよう  
**最終段階に入ったマサハチロクを  
坂東親分が厳しくチェックする!**





Gr.A ENGINE Gr.A ENGINE Gr.A ENGINE Gr.A ENGINE Gr.A ENGINE

# 一発OKはやっぱり無理だった……

## 坂東親分指摘のダメ出しPOINT

# 「安全面の配慮と空力対策が足りね~んだよ。」

坂

東さんが指摘した部分、それは2点あった。まず最初は安全面での問題点。

このクルマはノーマルタンクを外し、安全タンクを装備しているけど、その配管に「これじや燃えるぞ」というチエックが入ったのだ。

タンクからはアルミパイプでガソリン配管が引きまわしてあるが、パイプ部分が長いので振動でここにクラックが入る恐れがある。

この対策として、パイプの一部にゴムホースの部分を設ける。ここで振動を吸収すれば、パイプ自体にストレスはかかるないというわけ。次に指摘されたのが空力面の乏しさ。たしかにこのハチロクにはフロントスポイラーと小ぶりなりヤスボイラーしか付いていない。

そこで坂東さんからの提案は、ボディ下面を覆うアンダーカバーやサイドステップを装着すること。

アンダーカバーを付けることでボディ下面を流れる風が散流され、そのときに発生する負圧でボディを路面に吸いつける。

そしてサイドステップはボディ横から下に流れ込もうとする風を遮断し、下面の流れを乱さない役目。

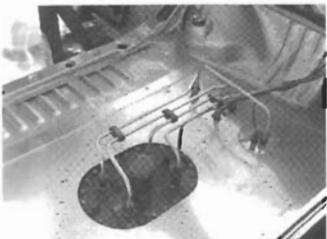
で、こういう組み合せなら、ハチロクのボディラインを崩さずにエアロの効果を出せるのだ。「タイム

出すのにハチロクはダメだろ」とボディ自体、否定的な言い方をしていた坂東さんだけど、そこはトヨタ車ひと筋できた人。それだけに、ハチロクには「ゴテゴテ付けるのは似合わねーよ」という意味も含んでい

るんだろう。

ということで、とりあえずこの2点で済んだけど、シェイクダウンで坂東さんにも乗ってもらうことになりそなうなので……ほかにも出てきそうな予感も、します。

## ガソリンパイプの振動対策



●出来はすぐいいんだけど、出来が良すぎるためパイプの取りまわしに逃げがない。そのため走行中の振動がもろに伝わりそれでパイプが割れる恐れもある。流れているのはガソリンだけに、これはたしかに危ないですね。

▲これが問題になったガソリンの配管。見た目はすごくカッコいいけど、パイプが長すぎるので振動でクラックが入る恐れもある。

▶これが対策の図。パイプを途中で何か所か切断して、そこにコムホースをわませる。これが振動を吸収してくれるということ。



## 下面エアロで空力対策



▲エンジンばかりに気がいっていたけど、そういう空力対策も必要だよね。そもそもCBも言われて初めてそここのトコに気がついた。

●エンジンにはモーテックという最新アイテムを組み合わせたけど、ボディは手つかずでした。駆動方式からしてシビックより不利なので、空力を良くしてストレートもコーナーも速くする。ハチロクにこれは効くかも。



▶フロントスポイラーの下側からアルミ板なる「ボディを覆うよなハネルを作った」というアーチウェイプが車にあつた。



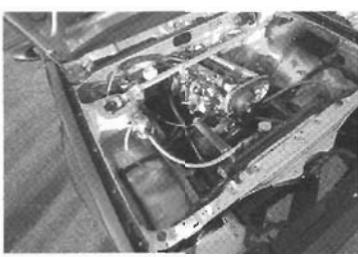
▲サイドステップなしのスタイルあすっきりしていいんだけど、シビックに負けないためにはエアロの導入はあります。



▲このエンジンのホテンシャルをアフルに引き出してタイムを狙うなら、FFのほうがいい。だけどあえてFRでいくのも面白いでしょう。



▲前をやるヒヤのダウンフォースも必要なので、そこはGTウイングでいいかティッシュユーザーでいくかは、これから考えましょう。



▲そういうのはノーマルのアンダーカバーすら付いていない。しっかり路面が見えています。こういう部分も対策が必要だよね。